

台風の時節です！

風水害に備えてますか？

問合せ 防災危機管理課 ☎ 33-4112



台風対策

昨年、九州に上陸した台風14号は、この八代市においても泉町をはじめとして多くの被害をもたらしました。

台風は、突然襲ってくるものではなく、刻々とその強さや進路を変えながら進むため、台風の接近にともなう情報には十分注意が必要です。

台風にも備えるポイント

家の内外を固める…瓦やテレビのアンテナの点検、雨樋のつまりなどを取り除く。物干竿やベランダの小物を取り込み、雨戸や板塀などの補強や排水溝のゴミを取り除き流れをよくする。

停電に備える…懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池などを用意する。水を貯えておく（ローソクは火災の原因になります）。

避難に備える…非常持出し袋の中身の確認、準備（食べ物、飲み物、衣類、日用品、貴重品、医薬・医療品、赤ちゃん用品、その他必要なもの）。避難は高齢者や障害者を優先して、車椅子やおんぶ帯などを用意しておく。事前に避難場所、避難経路を確認しておく。

台風の大きさ（風速15m/s以上の半径）

500km～800km未満	大型の台風
800km以上	超大型の台風

台風の強さ（最大風速）

33m/s～44m/s未満	強い台風
44m/s～54m/s未満	非常に強い台風
54m/s以上	猛烈な台風

集中豪雨対策

集中豪雨は、ある限られた範囲に、比較的短時間に大量の雨が降る現象で、大きな被害を与えることがあり、気象観測技術の進歩にもかかわらず予測の難しい気象現象です。がけ、傾斜地、河川沿いなどでは避難など早めの態勢をとり、防災関係機関の情報に十分注意しましょう。

土砂災害（がけ崩れ・地すべり・土石流）

土砂災害とは、長雨、大雨、豪雨のとき、地表の土砂が崩れ落ちる現象をいいます。

また、予測が非常に難しいことから、被害が繰り返し起こったり、平成15年の水俣市のように大変大きな被害がおきる場合もあります。

土砂災害の前ぶれ

がけ崩れ

- ▶ 小石がパラパラ落ちる
- ▶ がけに裂け目ができる
- ▶ がけから水が湧き出る

地すべり

- ▶ 地面にひび割れができる
- ▶ 陥没や隆起が生じる

土石流（鉄砲水）

- ▶ 山鳴りなどの音がする
- ▶ 川の水が急に減り始める

手助けが必要な人（災害時要援護者）がいます。

いざという事態に備える環境づくりや緊急の行動が困難な人たちがいます。単に高齢者や障害者だけでなく、乳幼児や病弱者のいる家庭、言葉や習慣の理解困難な外国人の方などもそうです。

このような人には、こんなことが必要なのだとか察知し、具体的に支援するなど積極的な行動がとれるように、日頃から訓練に参加したり、近所との日常の中の自然なお付き合いを大切にしてください。

自主防災会に参加しよう。

あなたの住む町内、地域、校区に自主防災会はありますか。自主防災会では、初期消火訓練や避難誘導訓練などを行っています。災害に備え訓練に参加することが、自分や家族の命を守ります。